

講義中の私語や居眠りスマホいじりの抑制

21711380 山口 裕也

21711221 高橋 歩夢

21711218 高田 麻由

1. 目的

講義中の私語やスマホいじりまた居眠りをなくすためポスターを活用した実験を行う。

2. 内容

ポスターの掲示とチラシを配布する二通りを考える。

対象の講義が始まる前にポスターを複数枚使って学生全員が見える位置に張り付ける方法と、講義を受ける学生にチラシを配布する二通りとする。

月曜日 2限の情報法、火曜日 2限の社会心理、水曜日 3限の IT 概論の三つの講義を対象とする。

3. 方法

実験方法①…ポスターを複数枚使って学生全員が見える位置に張り付ける方法

ポスターを貼るより前の講義で私語、スマホ、居眠りの人数を 30分後 60分後に調べる。

その次の講義でポスターを張り付け再度 30分後 60分後に調べる。

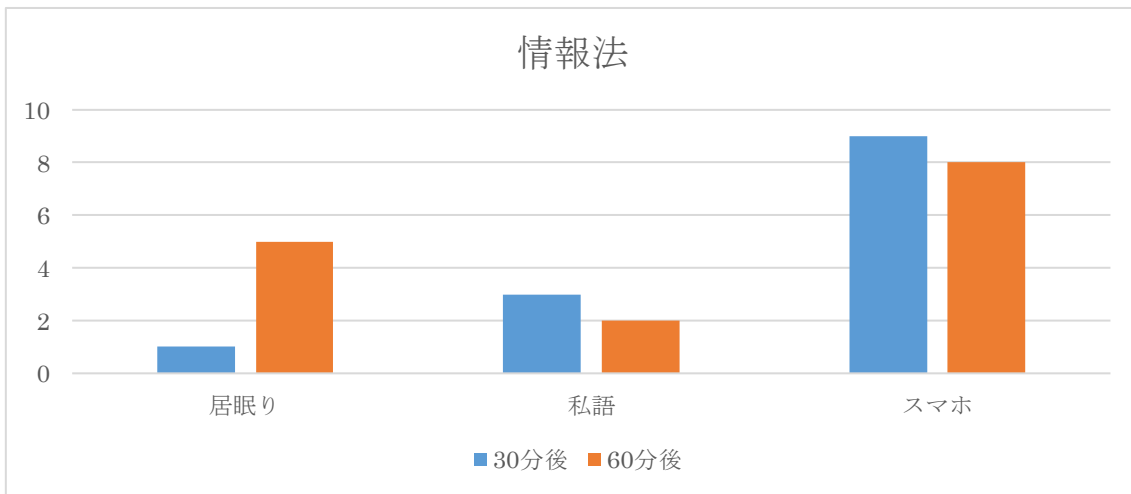
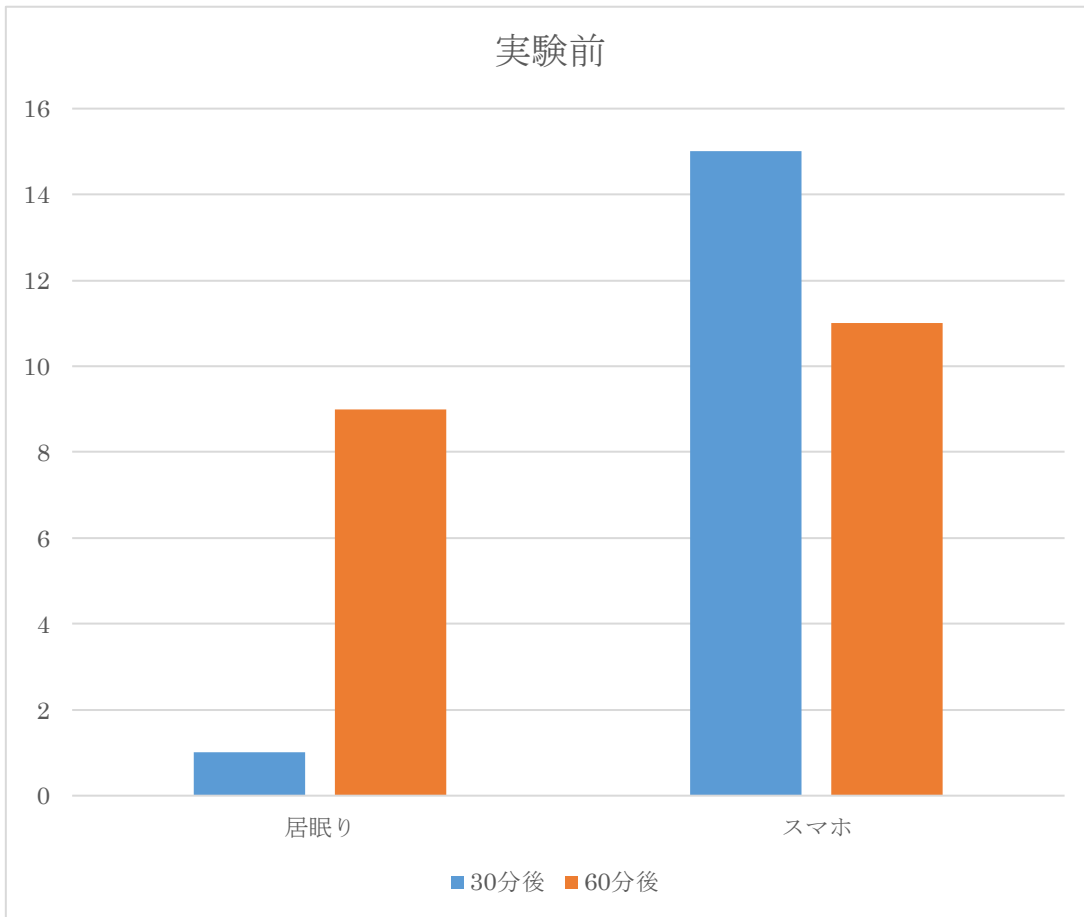
実験方法②…対象の講義を受ける学生にチラシを配布する方法

一つ目同様に事前に対象の講義の私語、スマホ、居眠りの人数を 30分後 60分後に調べる。

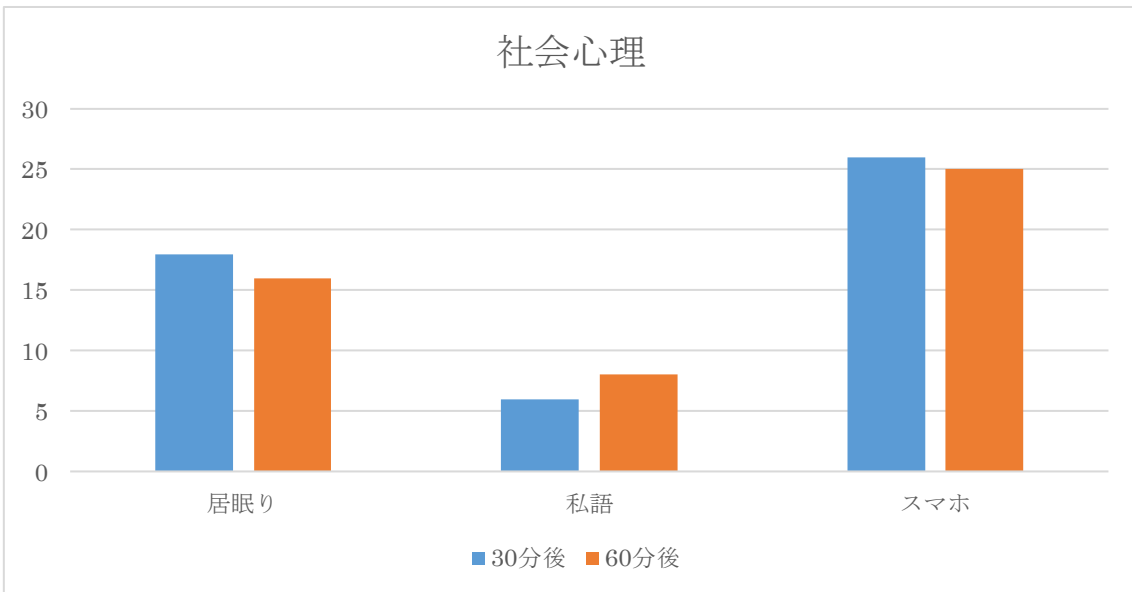
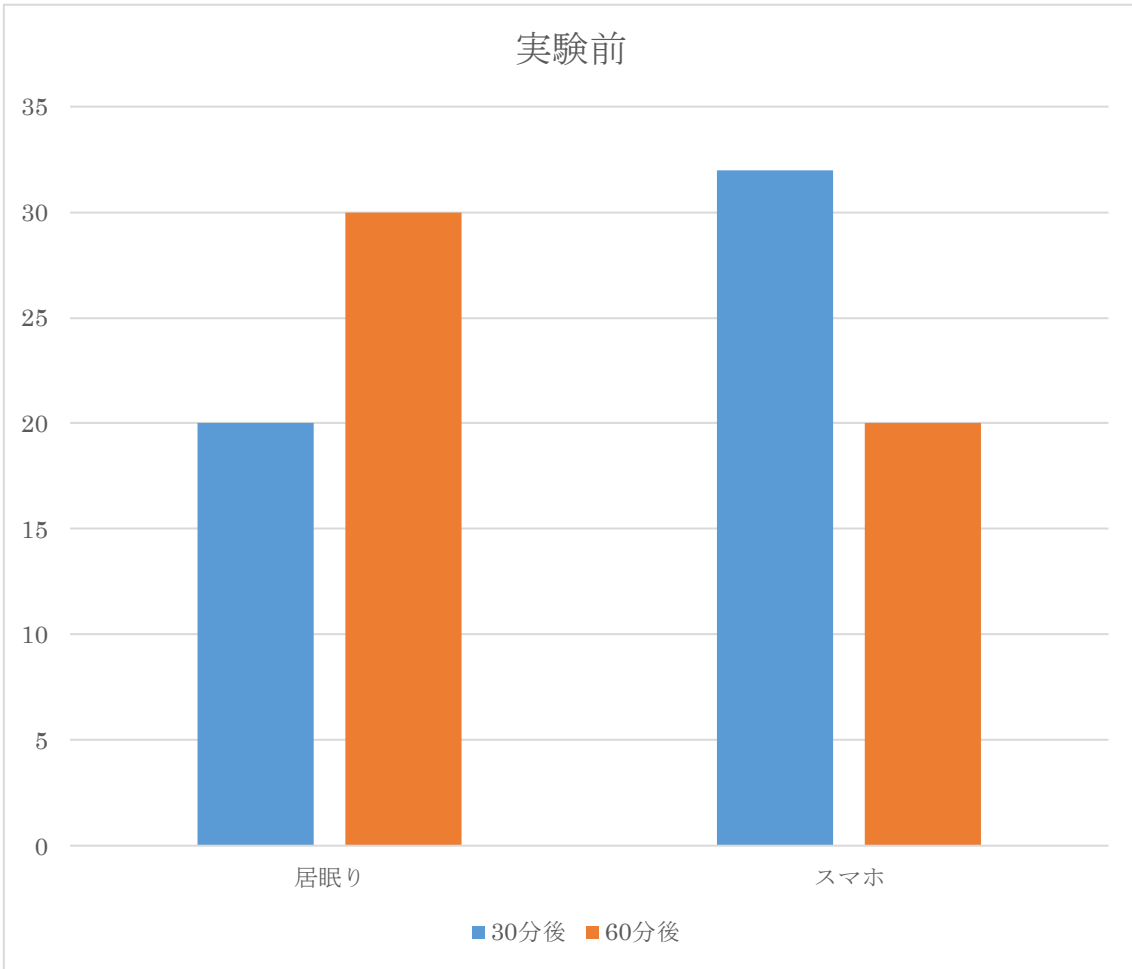
その次の講義でチラシを配布し再度 30分後 60分後に調べる。

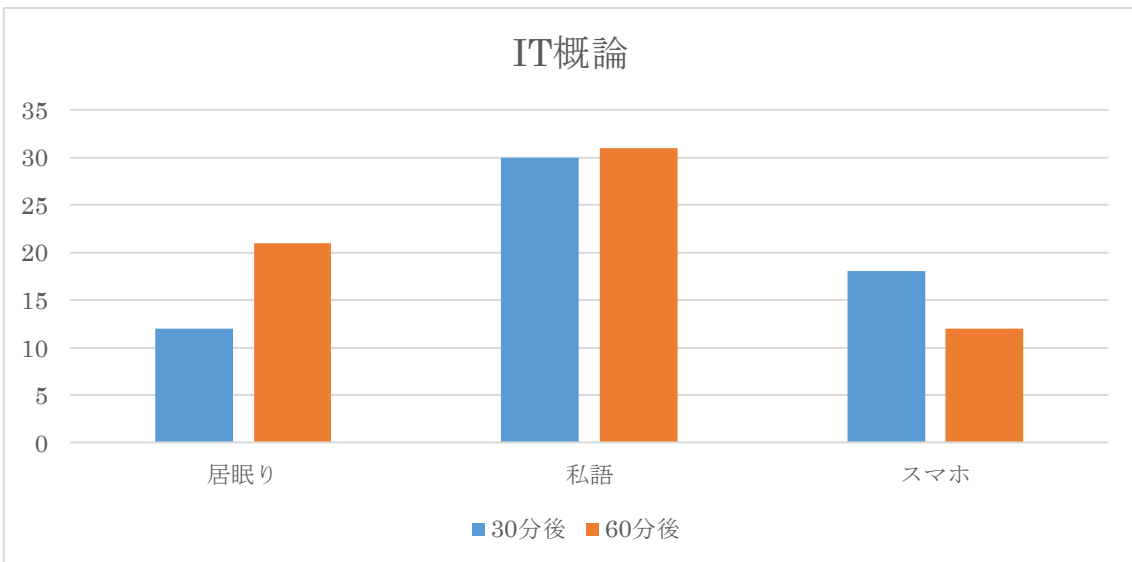
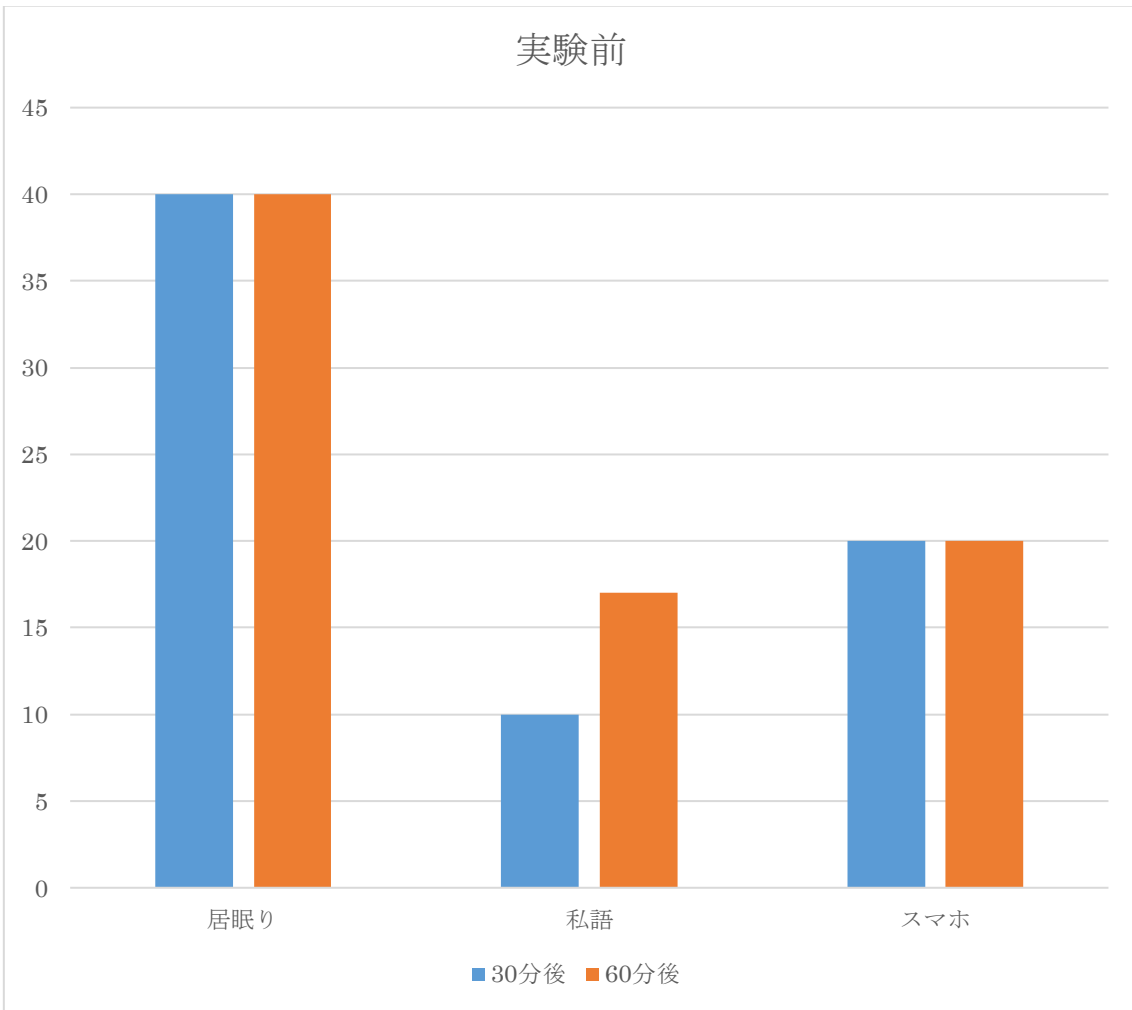
4. 結果

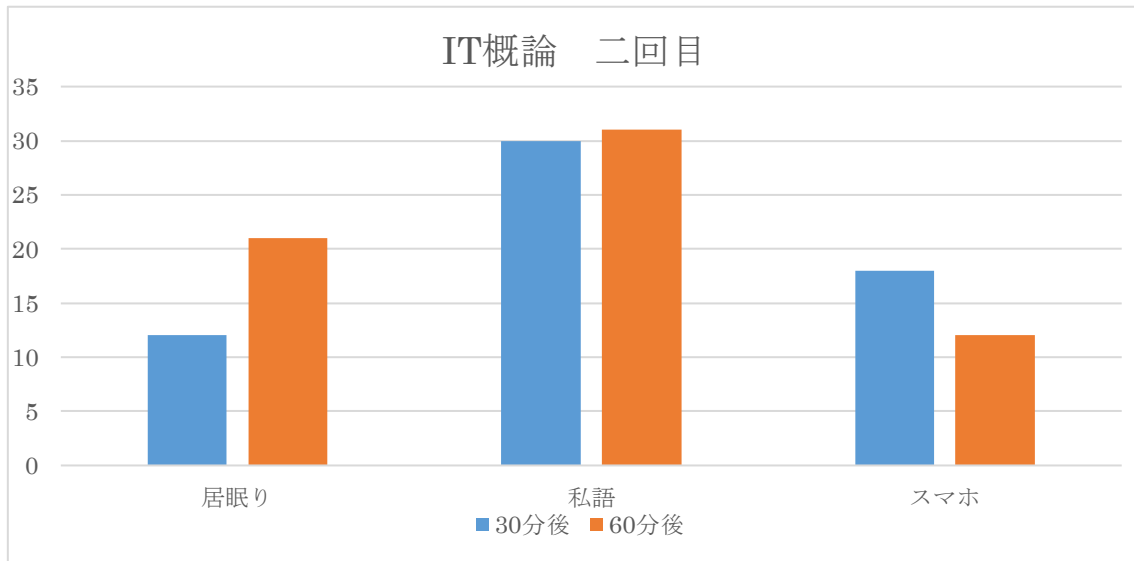
情報法



社会心理







5. 考察

全体としての講義に対する意欲が結果に出ている。

チラシを配るのは1人1人に渡っていったか、しっかり回ったのを確認する必要があった。

また、もう1種類するとしたら、講義の風景をカメラ撮影しているように見せかけるため、偽物のカメラを置くなどしてやれば効果が表れるのではないかと思う。